開校36周年
三小だより

令和７年５月３１日　発行
＜６月号＞
江戸川区立南葛西第三小学校
校　長　　佐久間　貴広

『感動、横綱級！』

副校長　阿部　貴広

５月 24 日（土）に行われた運動会では、多くの皆様にご参観いただき、そして温かな応援をありがとうございました。また、日頃より御家庭でのお子様の体調管理や励ましの声掛けなど、併せて感謝申し上げます。

今年度も昨年度同様に、運動会特別時間割期間の２週間のみの練習期間で本番を迎えました。加えて、今年度は、全校競技「大玉送り」の復活、応援歌「ゴーゴーゴー」の赤白応援合戦を新たに追加し、昨年度よりもさらにバージョンアップした内容となりました。競技数は増えても、午前中で全プログラムを終了し、お弁当なしで下校するスリム化を図った運動会運営を継続して行うために、いかに効率的に進めていくか。限られた時間のなかで、教職員はよりよいものになるように工夫して取り組んできました。目標を設定し、昨日の自分を超えるために躍動する子供たち。学校だけでなく、御家庭でもお子様が時間を見付けて表現の練習等に励んでいたことと推察します。

運動会当日、表現の発表時に予期せぬ音響トラブルに見舞われましたが、そこで自然と沸き起こった全校児童と会場の皆様からの大きくも温かな拍手と声援、発表学年の子供たちも集中力を切らすことなく、素晴らしい演技を披露することができました。この自然発生的なムーブメントは、私の忘れられない１ページとなりました。

さらに、運動会後のことです。ある児童が、「途中で曲が止まって緊張したけれど、機械もきっと緊張していたんだね。」と言っていたと担任から聞き、児童の心の温かさに感動しました。まさにスローガンにある『全力で目指す忘れられない光輝く運動会』となりました。

保護者の皆様には、運動会の運営面、ならびに内容等について、忌憚のないご意見をお寄せいただき、次年度の運動会に生かしていきたいと思います。

さて、運動会の翌日の５月 25 日（日）、大相撲夏場所千秋楽では、大関「大の里関」が２場所連続の優勝を飾り、史上最速の横綱昇進を確実なものにしました。大の里関は大関昇進の口上で述べた四字熟語は「唯一無二」。大の里関の父曰く「みんなに好かれる力士へ、好かれて、好かれて、その後、憎たらしいほどに強くなってほしい。」「どの親にとっても子供は唯一無二ですから。」と答えています。私たち、教職員にとっても同様であり、児童一人一人が唯一無二の存在です。これからも一人一人の個性を尊重し、それぞれの可能性を伸ばしていくために努めてまいります。次は体力テストや水泳が始まりますが、自分を信じ、仲間と高め合う感動の場面を数多く見るのが楽しみです。

全校全員で作り上げた運動会

体育主任　宮脇　礼

令和７年度の運動会が無事に終わりました。今年度の運動会は、「全力で目指す忘れられない光輝く運動会」というスローガンの下、本番に向けて練習を重ねました。練習時間が限られた分、タブレットの動画を活用して、休み時間や家庭で練習したり、教え合ったりする姿を通して、練習の成果を思う存分に発揮し、表現、競技、応援などに全力で取り組むことができました。

また、今年度は全校競技「大玉送り」が復活し、大いに盛り上がりを見せました。個人や学年だけではなく、全校が一体となって取り組んだ運動会となりました。

運動会を通して、子供たちが学んだことや感じたことをこれからの教育活動に生かしていけるように今後も見守っていきたいと思います。

グリーンピースのさやむき体験

２年２組　担任　藤本　ゆきか

５月７日（水）の１校時に、２年生はグリーンピースのさやむき体験を行いました。卯月栄養士と太田栄養士から、グリーンピースの旬の時期や、栄養についての話を聞きました。その後、グリーンピースの色や形、感触などに注目してじっくりと観察し、丁寧にさやと豆に分けました。

さやむきをしたグリーンピースがその日の給食にグリーンピースご飯として登場すると、子供たちは嬉しそうに味わって食べました。食べ終わると、「美味しかった。いつもよりたくさん食べた。」という声がありました。今後も、様々な食材や栄養に関心をもち続けてほしいと思います。

「ＥＤＯスク」始まりました！

トライ教室担当　　倉島　菜穂子

昨年度まで、「トライ教室」という名前で行われていた外部委託による放課後補習教室。今年度は、「ＥＤＯスク」と名前が変わり、４年生以上の希望者が参加しています。曜日ごとに毎週実施しています。

トライグループの講師が子供たち一人一人に寄り添って丁寧に指導してくださっています。今年度は、タブレット端末のアプリケーション「ミライシード」を使い、自分の課題はどこか、振り返りをしながら進めています。どの児童も意欲的に学習に取り組んでいます。

ＥＤＯスクで身に付いた基礎的・基本的な力を、普段の授業に生かしていけるように指導して参ります。